

## 新規事業箇所調書

		調書作成年月日	平成22年 2月 9日																									
		事業担当課	農村整備課																									
<b>事業名</b>	経営体育成基盤整備事業 はりうまえ (針生前地区)	<b>補助・ 単独の別</b>	補助	<b>事業主体</b>	宮城県																							
				<b>管理主体</b>	村田町																							
<b>施行地名</b>	しばた むらた むらた 柴田郡村田町大字村田地内			<b>管理主体</b>	村田町																							
<b>根拠法令</b>	土地改良法																											
<b>事業 の 概 要</b>	<b>事業目的</b>	<p>本地区は、宮城県の南部、仙台から南方へ25kmの距離で村田町の中央に位置し、東は東北新幹線、西は東北自動車道(村田IC)に囲まれ背後は山地を抱えた水田地帯である。</p> <p>地区内のほ場状況は、昭和8年～12年に耕地整備で10a区画に整備されているが、用排水路は未分離の土水路の上、農道は狭小で大型機械の導入を阻害し、近代的な営農に支障を来しており、担い手の育成を阻害している状況である。</p> <p>よって、本事業により区画形状の整備、農道の効率配置、用排水路の分離化、農用地利用の集積と団地化を行い、効率の良い農業経営と優良農地の保全を図ることを目的とする。</p>																										
	<b>事業内容</b>	区画整理工 A = 24.4ha																										
	<b>事業費</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 (受益者)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>内用地</td> <td>[ 50 % ]</td> <td>[ 30 % ]</td> <td>[ 10 % ]</td> <td>[ 10 % ]</td> </tr> <tr> <td>3.6億円</td> <td>一億円</td> <td>1.8億円</td> <td>1.08億円</td> <td>0.36億円</td> <td>0.36億円</td> </tr> </table> <p>※ 金額は地方事務費を含まないもの。</p>					全体事業費		費用負担内訳				国	県	市町村	その他 (受益者)		内用地	[ 50 % ]	[ 30 % ]	[ 10 % ]	[ 10 % ]	3.6億円	一億円	1.8億円	1.08億円	0.36億円	0.36億円
	全体事業費		費用負担内訳																									
			国	県	市町村	その他 (受益者)																						
	内用地	[ 50 % ]	[ 30 % ]	[ 10 % ]	[ 10 % ]																							
3.6億円	一億円	1.8億円	1.08億円	0.36億円	0.36億円																							
<b>事業期間</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 30%;">事業期間</td> <td colspan="4">平成22年度～平成27年度(6年間)</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成一年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td colspan="2">平成23年度</td> </tr> </table>					事業期間	平成22年度～平成27年度(6年間)				用地買収着手予定年度	平成一年度	工事着手予定年度	平成23年度														
事業期間	平成22年度～平成27年度(6年間)																											
用地買収着手予定年度	平成一年度	工事着手予定年度	平成23年度																									
<b>施設管理の予定</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">施設項目</td> <td>道路</td> <td colspan="3">用排水路, 揚水機場</td> </tr> <tr> <td>管理区分</td> <td>村田町</td> <td colspan="3">村田町</td> </tr> </table>					施設項目	道路	用排水路, 揚水機場			管理区分	村田町	村田町															
施設項目	道路	用排水路, 揚水機場																										
管理区分	村田町	村田町																										

事業の必要性	上位計画等																																
	○上位計画 以下の各種計画において、ほ場整備の推進、担い手の育成が位置付けられている。 ・村田農業振興地域整備計画(平成8年11月) ・村田町水田農業ビジョン(平成19年) ・みやぎ農業農村整備基本計画(平成18年4月)																																
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢等																																
	○社会経済情勢 米価が低迷し生産コストの一層の低減が求められていることや農家の高齢化により、水田農業の担い手(経営体)の確保と育成が強く求められている。また、食料の安定供給のための自給率向上とバランスのある生産のためには、作業効率を高める水田の大区画と栽培作物の拡大を図る水田の汎用化が必要となることから、農業者から基盤整備事業の導入要望が強い。  ○地元情勢、地元の意見 平成19年3月10日に受益者で針生前地区経営体育成基盤整備事業推進協議会を設立し、将来の地域農業を支える担い手の選定や、担い手への集積計画、作付作物などを話し合い、営農計画を創り上げてきた。 村田町においても、農業水田ビジョンの中で針生前地区の担い手を位置づけており、支援していくこととしている。特に、生産組織を町を代表する法人に育てようと、法人化に向けた話し合いを重ねており、生産組織も意欲的に話し合いに臨んでいる。 また、地元農家も町も将来にわたり地域の農業を持続するための仕組みが必要との共通認識を持っており、そのための基盤づくりが必要との意見で一致している。																																
事業の有効性	事業効果																																
	○想定される事業効果 (1) 地域農業の中心となる担い手農家の育成が図られる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別担い手農家</td> <td>2戸</td> <td>2戸</td> </tr> <tr> <td>農業生産組織</td> <td>1組織</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>農業生産法人</td> <td>—</td> <td>1法人</td> </tr> </tbody> </table> (2) 営農機械の大型化、経営規模の拡大により生産コストが低減する。 ア) 担い手経営体の地区内経営面積が農地集積により増加する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地集積面積</td> <td>4.44(0.00)ha</td> <td>16.00(16.00)ha</td> </tr> <tr> <td>農地集積率</td> <td>17.96(0.00)%</td> <td>65.68(65.68)%</td> </tr> </tbody> </table> ※( )内は面的集積(1ha以上の連担団地) イ) 地区内農家の水稻・大豆作付けに係る労働時間が減少する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th colspan="2">現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">労働時間</td> <td>水稻</td> <td>21.8hr/10a</td> <td>16.2hr/10a</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>6.6hr/10a</td> <td>4.6hr/10a</td> </tr> </tbody> </table>	項目\区分	現況	計画	個別担い手農家	2戸	2戸	農業生産組織	1組織	—	農業生産法人	—	1法人	項目\区分	現況	計画	農地集積面積	4.44(0.00)ha	16.00(16.00)ha	農地集積率	17.96(0.00)%	65.68(65.68)%	項目\区分	現況		計画	労働時間	水稻	21.8hr/10a	16.2hr/10a	大豆	6.6hr/10a	4.6hr/10a
項目\区分	現況	計画																															
個別担い手農家	2戸	2戸																															
農業生産組織	1組織	—																															
農業生産法人	—	1法人																															
項目\区分	現況	計画																															
農地集積面積	4.44(0.00)ha	16.00(16.00)ha																															
農地集積率	17.96(0.00)%	65.68(65.68)%																															
項目\区分	現況		計画																														
労働時間	水稻	21.8hr/10a	16.2hr/10a																														
	大豆	6.6hr/10a	4.6hr/10a																														

事業の有効性

ウ) 地区内農家の水稲・大豆作付けに係る生産コストが減少する。

項目\ 区分		現況	計画
生産コスト	水稲	172千円/10a	105千円/10a
	大豆	63千円/10a	39千円/10a

エ) 地区内の機械台数が減少する。

項目\ 区分	現況	計画
田植機	41台	22台
トラクター	49台	27台
コンバイン	19台	17台

(3) 水田の汎用化により土地利用型作物の拡大が図られ、耕地利用率が向上する。

ア) 主な作物の作付け面積

項目\ 区分	現況	計画
水稲	15.3ha	15.3ha
大豆	2.2ha	4.7ha
ホルクロップ <sup>®</sup> サイレージ	1.3ha	4.0ha

イ) 耕地利用率

項目\ 区分	現況	計画
耕地利用率	77%	100%

関連事業の概要・進捗状況等

該当無し

代替案との比較検討

農作業の効率性を阻害している小区画水田や幅員の狭い耕作道路、土水路で狭小な用排水路を一体的に整備し、水田での水稲及び大豆等の生産性を向上させるとともに、担い手農家の育成と担い手への集積を図るためには、本事業を導入することが最も有効であり、事業実施により、効率的で安定的な地域農業の確立を図るものである。

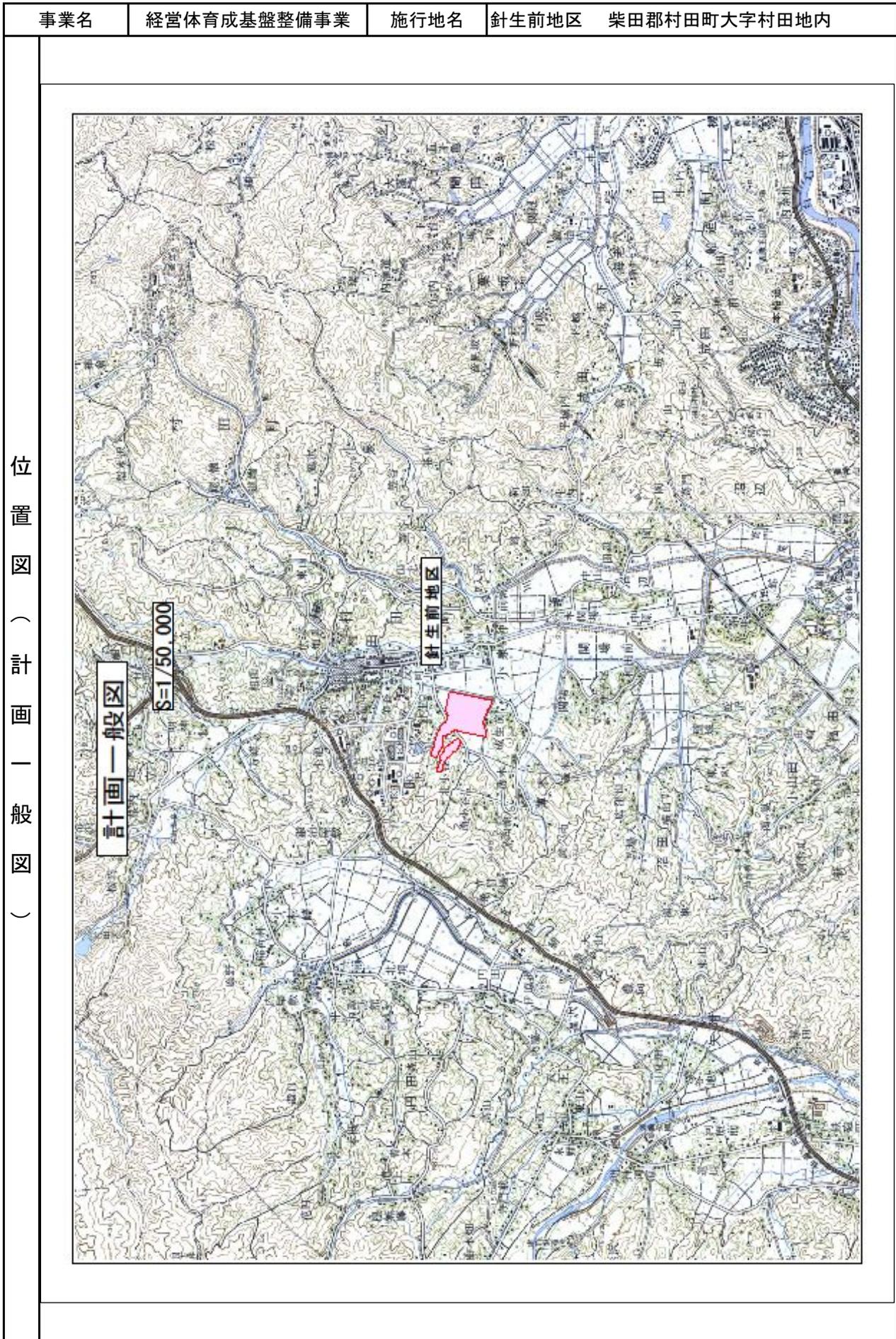
コスト縮減計画

現況区画（道・水路配置）を最大限利用した再区画方式の採用により、道水路整備や旧水路埋立等に係る事業費の縮減を図っている。また、暗渠排水を浅埋設暗渠にすることで、排水路の底高を浅くし、排水路整備にかかるコスト縮減を図っている。

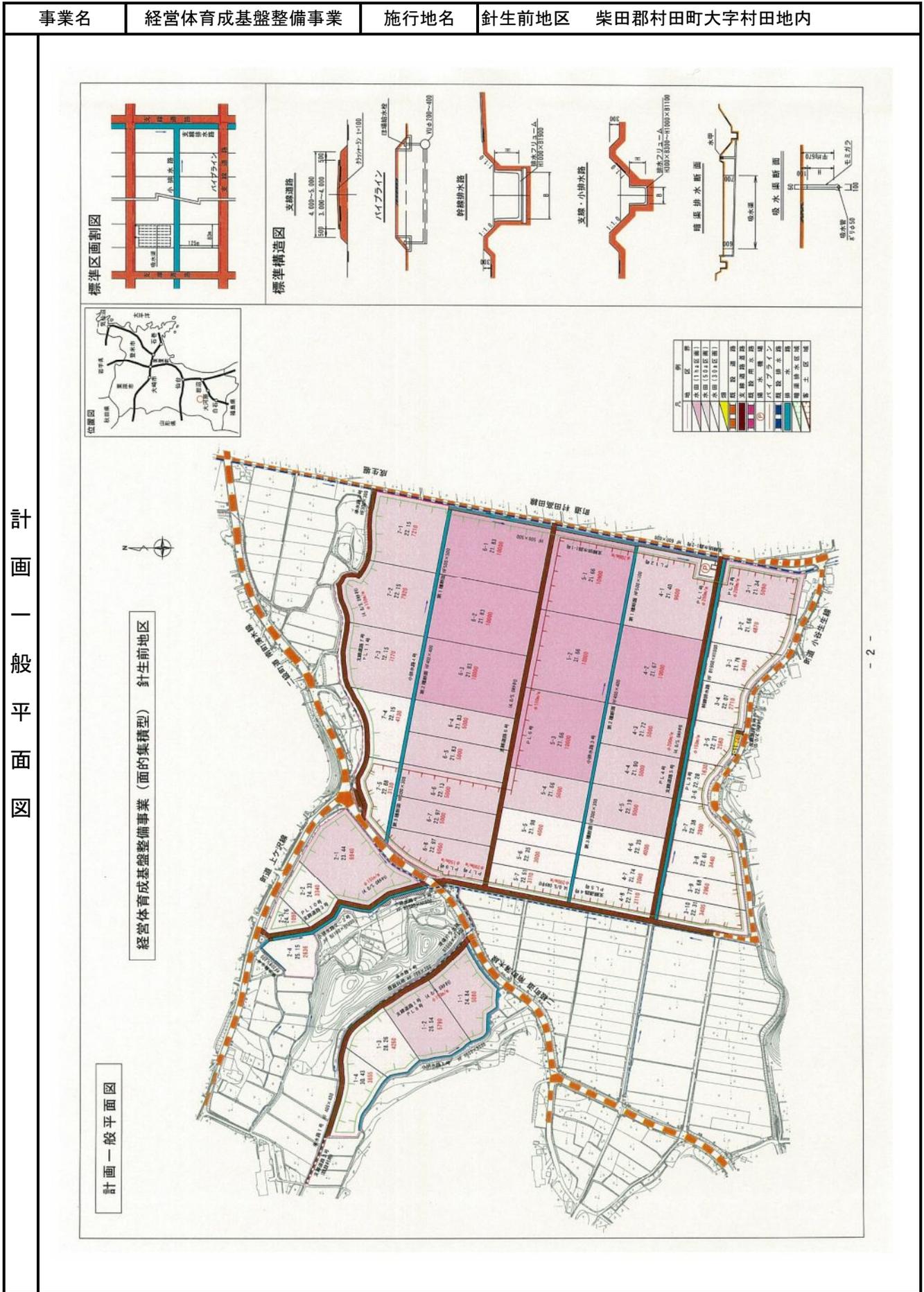
事業の効率性	費用対効果																									
	<p>根拠マニュアル：新たな土地改良の効果算定マニュアル（平成19年度版）  【農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課監修】</p> <p>社会的割引率： 4.0%</p> <p>便益算定期間： 46年</p> <p>基準年： 平成21年</p>																									
	<table border="1"> <tr> <td>総費用(現在価値) (C)</td> <td>360,919千円</td> </tr> <tr> <td>  当該事業による費用</td> <td>322,221千円</td> </tr> <tr> <td>  その他費用(関連事業等)</td> <td>38,698千円</td> </tr> <tr> <td>年総効果(便益)額</td> <td>20,643千円</td> </tr> <tr> <td>  作物生産効果額</td> <td>9,121千円</td> </tr> <tr> <td>  営農経費節減効果額</td> <td>12,339千円</td> </tr> <tr> <td>  維持管理費節減効果額</td> <td>▲825千円</td> </tr> <tr> <td>  耕作放棄防止効果</td> <td>8千円</td> </tr> <tr> <td>評価期間(工事工期+40年)</td> <td>46年</td> </tr> <tr> <td>割引率</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>総便益額(現在価値) (B)</td> <td>382,773千円</td> </tr> <tr> <td>総費用総便益比(B/C)</td> <td>1.06</td> </tr> </table>		総費用(現在価値) (C)	360,919千円	当該事業による費用	322,221千円	その他費用(関連事業等)	38,698千円	年総効果(便益)額	20,643千円	作物生産効果額	9,121千円	営農経費節減効果額	12,339千円	維持管理費節減効果額	▲825千円	耕作放棄防止効果	8千円	評価期間(工事工期+40年)	46年	割引率	0.04	総便益額(現在価値) (B)	382,773千円	総費用総便益比(B/C)	1.06
	総費用(現在価値) (C)	360,919千円																								
	当該事業による費用	322,221千円																								
	その他費用(関連事業等)	38,698千円																								
	年総効果(便益)額	20,643千円																								
	作物生産効果額	9,121千円																								
	営農経費節減効果額	12,339千円																								
	維持管理費節減効果額	▲825千円																								
耕作放棄防止効果	8千円																									
評価期間(工事工期+40年)	46年																									
割引率	0.04																									
総便益額(現在価値) (B)	382,773千円																									
総費用総便益比(B/C)	1.06																									
環境への影響と対策	地域指定状況等																									
	<p>本地区は、村田町が策定する「田園環境整備マスタープラン」において、環境配慮地区として位置づけられている。</p>																									
総合評価	影響と対策																									
	<p>(1) 生物生息環境  現在、用排兼用となっている土水路は、本事業により、用水路はパイプラインになり、排水路はコンクリート水路になることから、魚貝類や両生類の生息数が減少する可能性がある。  このため、工事期間中は、水路や田んぼに生息する魚貝類を地区外に隣接する幹線排水路へ移動するなどして、工事による影響を極力回避することとする。</p> <p>(2) 景観への配慮  本地区は、再区画整理方式を採用しており、幹線的な道水路の配置は変更にならないため、景観への影響は少ない。  なお、新設する遊水池の護岸を景観に配慮した護岸とする。</p>																									
総合評価	事業箇所評価結果																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位/12</td> <td>6箇所</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	1位/12	6箇所	—																		
評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)																								
1位/12	6箇所	—																								
総合評価	対応方針																									
	事業実施																									

(参考資料1)

### 事業概要図



### 事業概要図



## 事業箇所の状況等

事業名	経営体育成基盤整備事業	施行地名	針生前地区	柴田郡村田町大字村田地内
-----	-------------	------	-------	--------------



用排兼用水路のため、水管理に労務を費やしており、効率的な営農が図られていない。



水田が狭小で不整形なため作業効率が悪く、大型機械による営農に支障を来している。



排水不良なほ場では、農地の汎用化が図れず、転作の実施に支障を来している。